

電気設備改修工事 特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 青森県上北郡おいらせ町上明堂88-2地内

2. 建物概要

[illegible]

3. 工事種目（●印の付いたものを適用する。）

建物別及び屋外		工 事 種 別			備 考
工事種目	公民館			屋 外	
● 電灯設備	改設一式				
○ 動力設備					
○ 電気自動車用充電設備					
○ 電熱設備					
○ 雷保護設備					
○ 受変電設備					
○ 電力貯蔵設備					
○ 発電設備					
○ 構内情報通信網設備					
○ 構内交換設備					
○ 情報表示設備					
○ 映像・音響設備					
○ 拡声設備					
○ 誘導支援設備					
○ テレビ共同受信設備					
○ 監視カメラ設備					
○ 駐車場管制設備					
○ 防犯・入退室管理設備					
○ 火災報知設備					
○ 中央監視制御設備					
○					
○ 構内配電線路					外灯設備を含む
○ 構内通信線路					
○					
○					
○					

4. 指定部分 ●なし
 ○あり 範囲： 工期：令和 年 月 日

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。（令和4年版）（以下「標準仕様」という。）
● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）
● 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
● 公共建築設備工事標準準（電気設備工事編）（令和4年版）（以下「標準」という。）
2. 特記仕様
特記事項は、●印の付いたものを適用する。
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と図印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一	○ 1. 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速（ $V_0 =$ ） 地面粗度区分（ ） ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域別表（ ）
般	○ 2. 電気工事士	最大電力500 kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
共	○ 3. 環境への配慮	（1）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 （2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
通		
事		
項		

- #### ● 4. 機材の品質等

- (1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとす。
- (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
- ただし、次の①から⑥すべての事項を評価した事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。
- ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
 - ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
 - ③ 安定的な供給が可能であること。
 - ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
 - ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
 - ⑥ 販路、保守等の営業体制を整えていること。

機 材 名	製造業者等名
LED照明器具（一般屋内用に限る。）	
照明制御装置	
可変速転用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キュービクル式配電盤	
高圧スイッチギア（DW形）	
高圧スイッチギア（PW形）	
高圧交流遮断器	
高圧変圧器（特定機器）	
高圧進相コンデンサ	
高圧限流ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（簡易型）を除く。）	
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）	
監視カメラ装置	
中央監視制御（監視制御装置）	

- 施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。
- (1) 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
- ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。
- ①設計用水平地震力
- 機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
- なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。

設計用標準水平震度		特定の施設				一般の施設	
		機器種別		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上 及び庇屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0		
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5		
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0		
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6		
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6		
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4		
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6		

- ①上層とは2～9階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、1～1012階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。中間層とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
- 水槽類には燃料小出タンクを含む。
- 重要機器は次のものを示す。
- | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 配電室 | <input type="checkbox"/> 発電装置（防災用） | <input type="checkbox"/> 直流電源装置 |
| <input type="checkbox"/> 交流無停電電源装置 | <input type="checkbox"/> 交換装置 | <input type="checkbox"/> 自動火災報知受信機 |
| <input type="checkbox"/> 中央監視制御装置 | | <input type="checkbox"/> |
- ②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
- ③地域係数 ※1.0 0.9
- (2) 横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

- イ) 撤去機器、器具等についてアスベスト含有製品調査を行い、監督職員に報告する。
調査範囲 ()
調査方法 () 型番確認の上、製造者ツリガク ()
ロ) 下記のアスベスト含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。
なお、調査にかかる費用は、 〇本工事 〇別途 とする。
〇

- ※ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
- 本工事で設置する。
- 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり据置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行う。
- 内部足場 種別 ○ 脚立、足場板等 ○
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
- 外部足場 防護シート ○ 設置する。 ○ 設置しない。
- 材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2.2.1 表2.2.1による。）
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
- 仮設置仕切り
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種
- 既設部分の養生
○ 行う（○ ニルシート等 ○
○ 行わない）

- 7. 72^' 72含有
製品調査

- ## ● 8. 足場その他

- 9. 電源周波数
- 10. はつり
- 11. 非破壊検査
- 12. あと施工アンカー
- 13. 撤去跡の補修
- 14. 既存施設等の復旧
- 15. 支持金物
・ 固定金具

- | | |
|---------------------|--|
| <p>○ 16. 既存盤の改修</p> | <p>○ 下記盤類の改修等は、製造者等による作業とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電盤 <p>○ 盤類の改修前と改修後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。</p> <p>○ 試験の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。</p> |
| <p>○ 17. 総合動作試験</p> | <p>各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。</p> |

- | | |
|-----------------|--|
| ● 18. 電線 | 新設する電線類は、図面に「EM-〇〇」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。 |
| ○ 19. ケーブルの種類 | EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。 |
| ○ 20. 厚鋼電線管 | 屋外、及び地下ビットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面熔融亜鉛のつき（めっき付着量300g/m ² 以上）」仕上げとする。 |
| ● 21. 合成樹脂製可とう管 | 合成樹脂製可とう管はPＦ管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。 |
| ● 22. 電線本数、管路など | 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもまじつかない。 |
| ○ 23. インサート | 床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。 |
| ● 24. フラッシュプレート | ● 金属製（ステンレス、新金属も含む） ○ 樹脂製 |
| ○ 25. フロアプレート | ○ アルミ製 ○ 鋼合金製
水平調整付プレート（空腔防止リング付）とする。 |
| ○ 26. 接地極の種別 | 図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。 |

- 2.7. 塗装
- キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ
※ 製造者の標準色仕上げとする。
- 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。
- 屋外 ○ 屋内 (○)
- 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
- () ○ 居 室 ○)

- | | |
|-----------------|--|
| ● 28. 機器取付高さ | 図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。 |
| ○ 29. 保温、結露防止 | 外部に面する壁・天井で建築工法等でFP管（スタイロフォーム等）打込み箇所を取付ける位置ボスなどでは保温、結露防止処理を行う。 |
| ○ 30. 呼び線 | 長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-E電線を挿入する。 |
| ○ 31. 本受電後の基本料金 | ○ 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）
○ 計上しない |

- | | | | |
|--------|-------------------------|---|-------|
| 各
設 | ● 1. タンバスイッチ | ネーム付きます。 | |
| | ○ 2. Oフロア用
配線器具の蓋 | ○ アルミ製 | ○ 樹脂製 |
| | ○ 3. ハネンジョイント
用 OAP7 | 特記の無いハネンジョイント用 OAP7 は次の仕様とする。
2P15A (接地極付抜止形) × 4 コード 3m (7'7" 弱) 通電表示灯付 | |
| | ● 4. 人感センサ用
プレート | 照明の人感センサ制御を行う部屋として、下記の注意プレートを設置する。
材質：アクリル 寸法：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度 | |

- 注意プレート設置室: ○ 便 所 (計 枚) ○ (計 枚)

- | | |
|-------------------------|---|
| ● 6. LED照明器具 | LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形(LN)」とする。 |
| ● 7. 照度測定 | 一般照度の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。
○明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上
○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上 |
| ● 8. 照度測定
(非常用の照明装置) | 非常用の照明装置の照度測定箇所は、工事全体で計 箇所以上とし、監督職員に報告する。 |
| ○ 9. 分電盤 | ○ 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E, 200V2P2E)とする。
○ 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(PF22)を1本、5個以上の場合(PF22)を2本、天井で立上げる。 |
| ○ 10. 制御盤 | 配管バンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。 |

ホ OHZ
はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。

イ) 放射線透過検査等による埋設物の調査
ロ) 範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。

イ) あと施工アンカー 接着系アンカー （ 接着剤（有機系）
 金属抵係系アンカー 本体打込み式）

ロ) 試　　験 性能確認試験 ○ 行う ○ 行わない
 施工後確認試験 ○ 行う ○ 行わない

機器撤去後の天井、壁及び床等の修繕は既存仕上げと同等の修繕とする。
施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に復旧する。

イ) 屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）は溶融亜鉛めっき製またはステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカ―ボルトのナットにはラッチキャップ（樹脂製）を取り付ける。

- 振動支持用機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
- 下記登壇の改修等は、製造者等による作業とする。
 - 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電盤 ○
- 試験の改修前と改修後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
- 登壇の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。

各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。

新設する電線類は、図面に「EM-〇〇」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。

EM—高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。

屋外、及び地下ビッドで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは、内外面溶融亜鉛めっき（めっき付重量300g/m以上）仕上げとする。

合成樹脂製と云う場合はPＦ管（一重管）とし、温度による分類はタイプ—2とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。

床版下断熱材打込み部分は、断熱材を用いんとすると。

○ 金属製（ステンレス、非金属も含む） ○ 樹脂製
○ アルミ製 ○ 合金鋁製
水平調整板プレート（空転防止リグ付）とする。

図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。

○ キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ
※ 製造者の標準色仕上げとする。
○ 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。
○ 屋外 ○ 屋内 (○)
○ 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
○ 居室 ○

図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。

外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。

長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。

① 計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）

② 計上しない

○ スチーム付きとする。
 ○ アルミ製 ○ 樹脂製

寺記の無いハネス[®]ヨイト用 O A ヲ[®]7 は次の仕様とする。

2P 15 A (接地極付放止形) × 4 ムド[®]3 m (7 ヲ[®]ネット付) 通電表示付

照明の人の感センサ制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。

材質：アクリル	文字：印刷文字	寸法：W=180mm程度、H=50mm程度
---------	---------	-----------------------

灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。)
 注意プレート設置室： ○ 便 所 (計 枚) ○ (計 枚)
 天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。
 ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。
 LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形(LN)」とする。
 一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。
 ●明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上
 ●明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上
 非常用の照明装置の照度測定箇所は、工事全体で計 箇所以上とし、監督職員に報告する。
 ○ 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1P15V系(100V2P1E, 200V2P2E)とする。
 ○ 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(PF22)を1本、5個以上の場合(PF22)を2本、天井まで立上れる。
 配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。

表1「接地極一覧表」
 接地極の種別は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

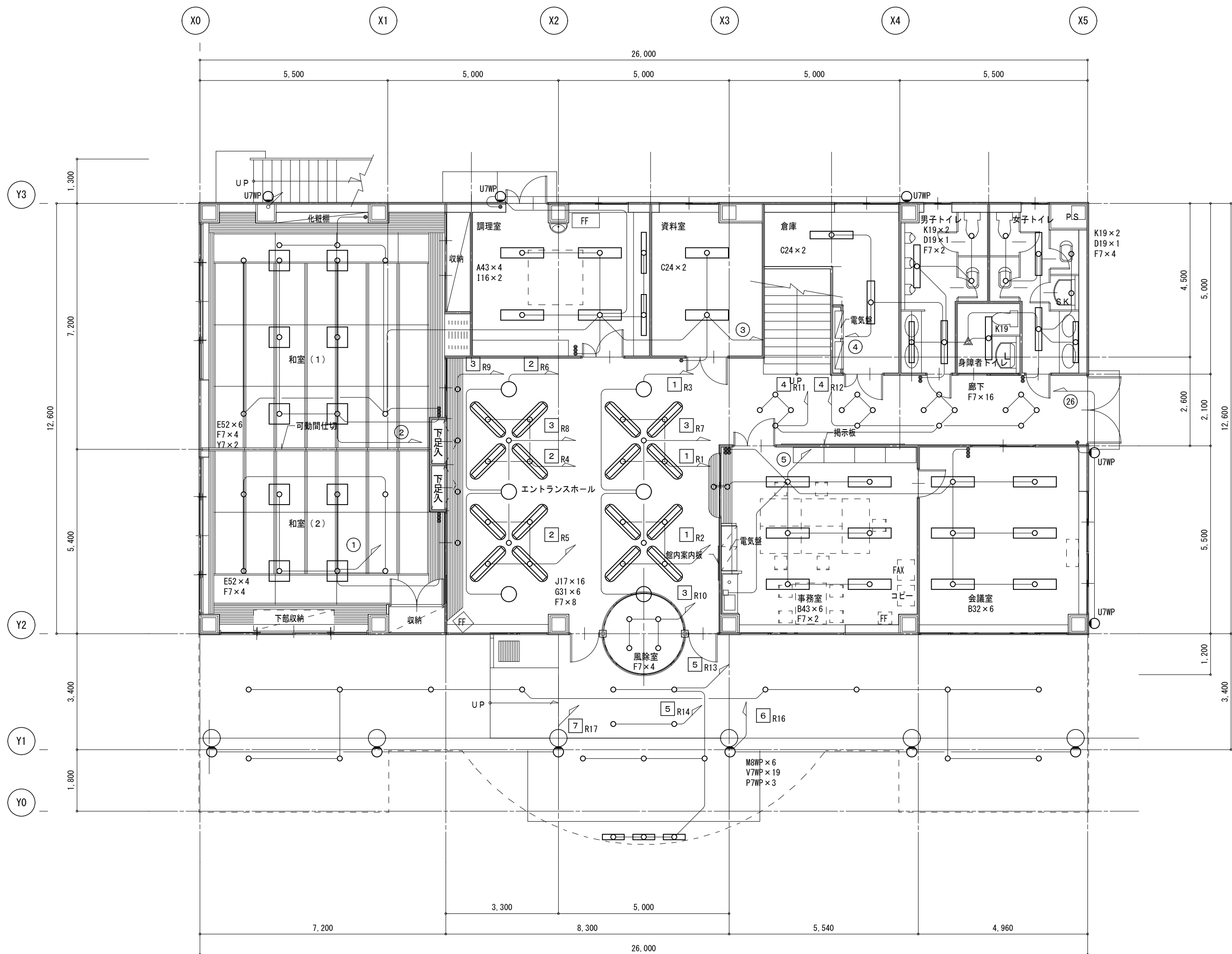
[illegible]

表2「機器取付高さ」

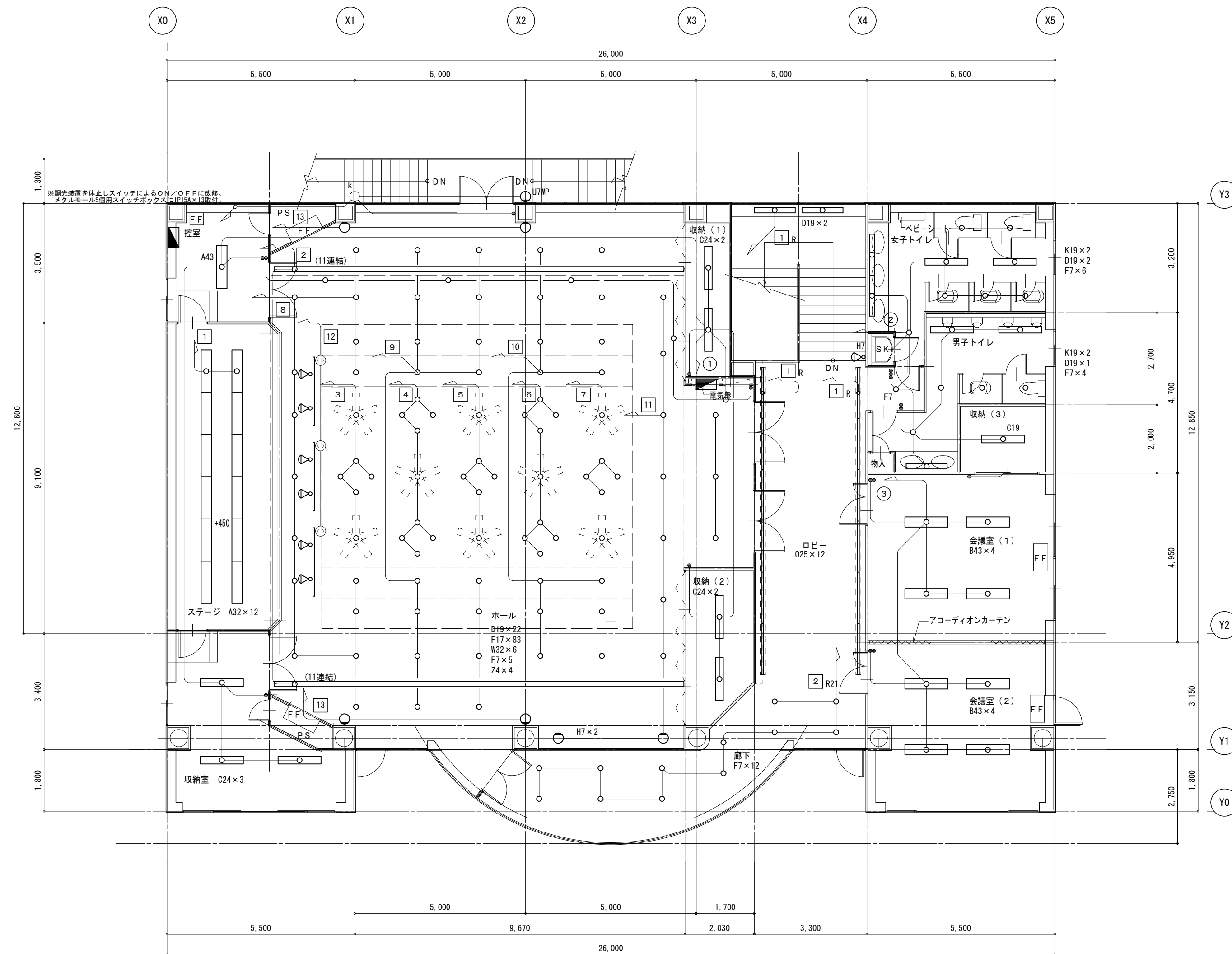
機 器	測 点	取付高 (mm)	機 器	測 点	取付高 (mm)
共通	積算用計器	地上～中心 1,800～2,000	電	集合保安装置	天井～上端 200
	引込開閉器	床～中心 1,800～2,200		端子盤(廊下、室内)	床～下端 300
電	分電盤	床～中心 1,500 (上限,900以下)	話	端子盤(EPGなど)	床～中心 1,500 (上限,900以下)
	スイッチ(一般)	床～中心 1,300		壁付電話機	床～中心 1,300
	スイッチ(自動ドア)	床～中心 1,300		壁付770Vレリト(一般)	床～中心 300
	スイッチ(和室)	床～中心 1,200	壁付770Vレリト(和室)	床～中心 150	
	コンソレ(一般)	床～中心 300	時計 拡声	壁掛形時計	床～中心 1,500 (上限,900以下)
	コンソレ(和室)	床～中心 150		壁付時計	床～中心 天井高×0.9
	コンソレ(台上)	床～中心 150～200		壁付形レリト	床～中心 天井高×0.9
	コンソレ(廊房)	床～中心 800～1,000		壁付770Vレリト	床～中心 1,300
	コンソレ(車庫)	床～中心 1,300		情報表示盤	床～中心 天井高×0.9
	コンソレ(機械室)	床～中心 500～1,000		壁付受信機	床～中心 1,300
コンソレ(屋外)	地上～中心 1,000～1,300	ヘルプ・ブザー・チャイム		床～中心 2,300	
770Vレリト(一般)	床～中心 2,100～2,300	壁付押ボタ(一般)		床～中心 1,300	
770Vレリト(浴場)	床～中心 2,000～2,500	壁付770Vレリト(縦器)		床～中心 1,400	
770Vレリト(鏡上)	鏡上端～中心 150	壁付インターホ(子機)		床～中心 約1,350	
動力	壁掛形制御盤	床～中心 1,500 (上限,900以下)	ホイ ンター	壁付インターホ(一般)	床～中心 1,300
	開閉装置	床～中心 1,500		壁付770Vレリト(一般)	床～中心 1,300
電力	制御用スイッチ	床～中心 1,300	テレビ	機器収納箱	天井～上端 200
	試験用接地端子箱	床～下端 800		機器収納箱 (EPS)	床～中心 1,500 (上限,900以下)
雷保護			受電	770V端子 (一般)	床～中心 300
受電	接地端子箱	床～中心 500		770V端子 (和室)	床～中心 150
			火災 報知	受信機	床～操作部 800～1,500
誘導文 字等	呼出し機(1用)	床～中心 900、400 (各1個)		器具受収箱	床～操作部 800～1,500
	壁付インターホ(親機)	床～中心 1,300	器具受収箱	床～操作部 800～1,500	
	壁付インターホ(玄関子機)	床～中心 1,100	発表機	床～操作部 800～1,500	
	廊下表示灯	床～中心 1,300	表示灯	床～中心 2,100	
	スイッチ(夜間点灯)	床～中心 1,300	警報ベル	床～中心 2,300	
	スイッチ(車椅子用)	床～中心 1,100	可燃性石油ガス用	床～上端 300	
	スイッチ(車椅子用)	床～中心 900	都市ガス用(軽質)	天井～上端 150	
			都市ガス用(重質)	床～上端 300	

注) 天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

工 事 区 分 表（他工事との取合い等）		区分は○印を適用する。					A：建築工事　E：電気設備工事　M：機械設備工事　EV：エレベーター設備工事					※複数箇所に○印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施する。																			
項 目		A	E	M	EV	備 考	項 目		A	E	M	EV	備 考	項 目		A	E	M	EV	備 考	項 目		A	E	M	EV	備 考				
1. R C造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○	○		4. 昇降機関連（続き）	E V警報盤又はE V監視盤までの緊急地震速報受信用の配管工事		○				9. フリーアクセスフロア	コンセント		○					屋 外 排 水 設 備 ・ 外 構									
	補強を要する型枠材及び取付け	○						E V制御盤からE V監視盤又は警報盤までの制御及びインターホンの配管・配線工事				○				床パネルの切り込み加工	○						1. 雨水	屋外雨水排水設備	○						
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○			動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事				○										樹及び樹ふた		○							
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○							○										マンホールの化粧上ふたの表面仕上げ		○							
	貫通孔・開口部の補強	○																				雨水公設樹	○				公共下水道が分流式の場合				
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画		5. その他	トラフ・ピット類（湧水・汚水）R C造各種水槽	○							排煙窓本体・自動開閉装置	○						2. 雑排水・汚水電力・通信	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
2. S・SRC造の梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	○					同上用防水・ふた・マンホールタラップ等		○						上部電動シャッター・排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器		○				樹及び樹ふた				○						
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画	雷保護設備・同接地工事				○				自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○					ハンドホールの化粧用上ふたの表面仕上げ	○									
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○	防火区画、防煙区画	A L C板の壁開口・補強		○						自動扉の手元電源スイッチ		○				マンホールの化粧用上ふたの表面仕上げ	○									
							厨房排水溝		○						電気錠の本体、扉内配線	○					排水公設樹				○		公共下水道が合流式の場合				
3. 設備機器の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）	○					厨房グリース阻集器					○			電気錠の扉までの配管及び配線			○				3. 植栽	植栽及び客土		○						
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）		○	○			オイルサービスタンクの防油堤		○						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアクローザー、フロアヒンジ	○							4. ユニット形浄化槽		タンク室の躯体	○					
	屋外・屋上の基礎	○					フリーアクセスフロア内の防水堤		○						自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への配管・配線工事	○					タンク室の砂充てん						○				
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの		○	○			既設埋設配管配線調査（X線探査含む）		○	○	○				自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線			○				上記以外のユニット形浄化槽本体配管及び据付等					○				
	機器取付け用アンカー・架台			○	○		仕 上 げ 関 係															5. 屋外オイルタンク	タンク室の躯体	○							
	屋内受水タンク用の基礎	○						1. 計量鉄骨天井下地・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○													タンク室の砂充てん				○				
太陽電池アレイ用架台（支持金物）	○	○			AとEの区分は図示			補強を要しないボードの切り込み		○	○										上記以外のオイルタンク本体配管及び据付等					○					
4. 昇降機関連									開口部の墨出し			○	○		1 1. その他	2重ビット及びトレンチのマンホールふた	○					6. その他	駐車場ガソリントラップ（R C造）	○							
	機械室・昇降路の躯体	○												機器搬入用フック、ビーム		○					E V用フック含む		5. 屋外オイルタンク	タンク室の砂充てん			○	○			
	機械室の床開口	○					2. 可動間仕切り	切込み及び補強	○					チェーンブロック			○	○						6. その他	上記以外のオイルタンク本体配管及び据付等			○	○		
	機器室の床配管ピット・ふた	○						位置ボックス	○					化粧マンホール上ふたの表面仕上げ		○									電 気 配 線 配 管	配管トレンチ及びふた	○				
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○												点検口（天井・床下）		○										電 気 配 線 配 管					
	機械室・昇降路内換気設備			○			3. つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	○	○				排煙口等の天井仕上材の取付け		○					排煙口はM	6. その他									
	巻上機周囲のチェッカープレート敷				○									消火器B O X設置工事		○							電 気 配 線 配 管								
	昇降路内ピット防水・集水樹	○					4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					誘導標識（誘導灯を除く）		○								電 気 配 線 配 管							
	点検用タラップ				○			ウエザーカバー、ベントキャップ（シール共）				○				煙突底部排水目皿・排水管	○										電 気 配 線 配 管				
	各階出入口穴あけ・同補強	○						換気扇（取付枠共）					○				くつふきマット・玄関マット・自動扉マット部床排水金物（目皿共）・排水管	○										電 気 配 線 配 管			
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修				○			サッシパネル開口	○						くつ洗い流し部排水金物・排水管	○						電 気 配 線 配 管									
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材	○													ルーフトレン	○							電 気 配 線 配 管								
	出入口扉・三方枠及び幕板				○		5. 湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台	○						雨水流入配管	○					電動遮断弁以降はM			電 気 配 線 配 管							
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨	○						フード（標準詳細図のもの、シール共）	○						雨水利用設備集水管			○			屋上緑化用灌水装置までの配管はM				電 気 配 線 配 管						
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式				○			ミニキッチン（照明、水栓含む）	○						屋上緑化	○										電 気 配 線 配 管					
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けピース	○					6. 浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット					○			ポンプ及びポンプアップ配管			○			電 気 配 線 配 管									
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）	○						既製浴槽（ふたを含む）					○										電 気 配 線 配 管								
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口	○						浴室及び便所の床排水金物					○											電 気 配 線 配 管							
	点検用コンセント・煙感知器		○				7. 便所まわり	洗面カウンター	○																電 気 配 線 配 管						
	E V制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、非常用発電時管制運転用信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事				○			鏡（規格寸法のみ）					○													電 気 配 線 配 管					
	E V警報盤又はE V監視盤からエレベーター内監視カメラまでの配管・配線工事				○	監視カメララ含む		衛生器具ユニット					○									電 気 配 線 配 管									
	監視カメラ用の監視装置からE V警報盤又はE V監視装置までの配管・配線工事		○			電気設備のモニタ装置に映像を表示する場合	8. 事務室まわり	ファンコイルカバー	○														電 気 配 線 配 管								
	E V警報盤又はE V監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の配管工事		○					家具組み込みの洗面器					○											電 気 配 線 配 管							
																					電 気 配 線 配 管										
																									電 気 配 線 配 管						
																						電 気 配 線 配 管									
																							電 気 配 線 配 管								
																								電 気 配 線 配 管							
																					電 気 配 線 配 管										
																									電 気 配 線 配 管						
																						電 気 配 線 配 管									
																							電 気 配 線 配 管								
																								電 気 配 線 配 管							
																					電 気 配 線 配 管										
																									電 気 配 線 配 管						
																						電 気 配 線 配 管									
																							電 気 配 線 配 管								
																								電 気 配 線 配 管							
																					電 気 配 線 配 管										
																									電 気 配 線 配 管						
																						電 気 配 線 配 管									
																							電 気 配 線 配 管								
																								電 気 配 線 配 管							
																					電 気 配 線 配 管										
																									電 気 配 線 配 管						
																						電 気 配 線 配 管									
																							電 気 配 線 配 管								
																								電 気 配 線 配 管							
																					電 気 配 線 配 管										
																									電 気 配 線 配 管						
																						電 気 配 線 配 管									
																							電 気 配 線 配 管								
																								電 気 配 線 配 管							
																					電 気 配 線 配 管										
																									電 気 配 線 配 管						
																						電 気 配 線 配 管									



1階平面図 S=1:100



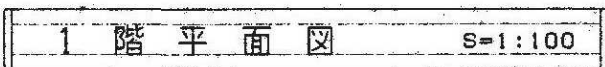
2階平面図 S=1:100

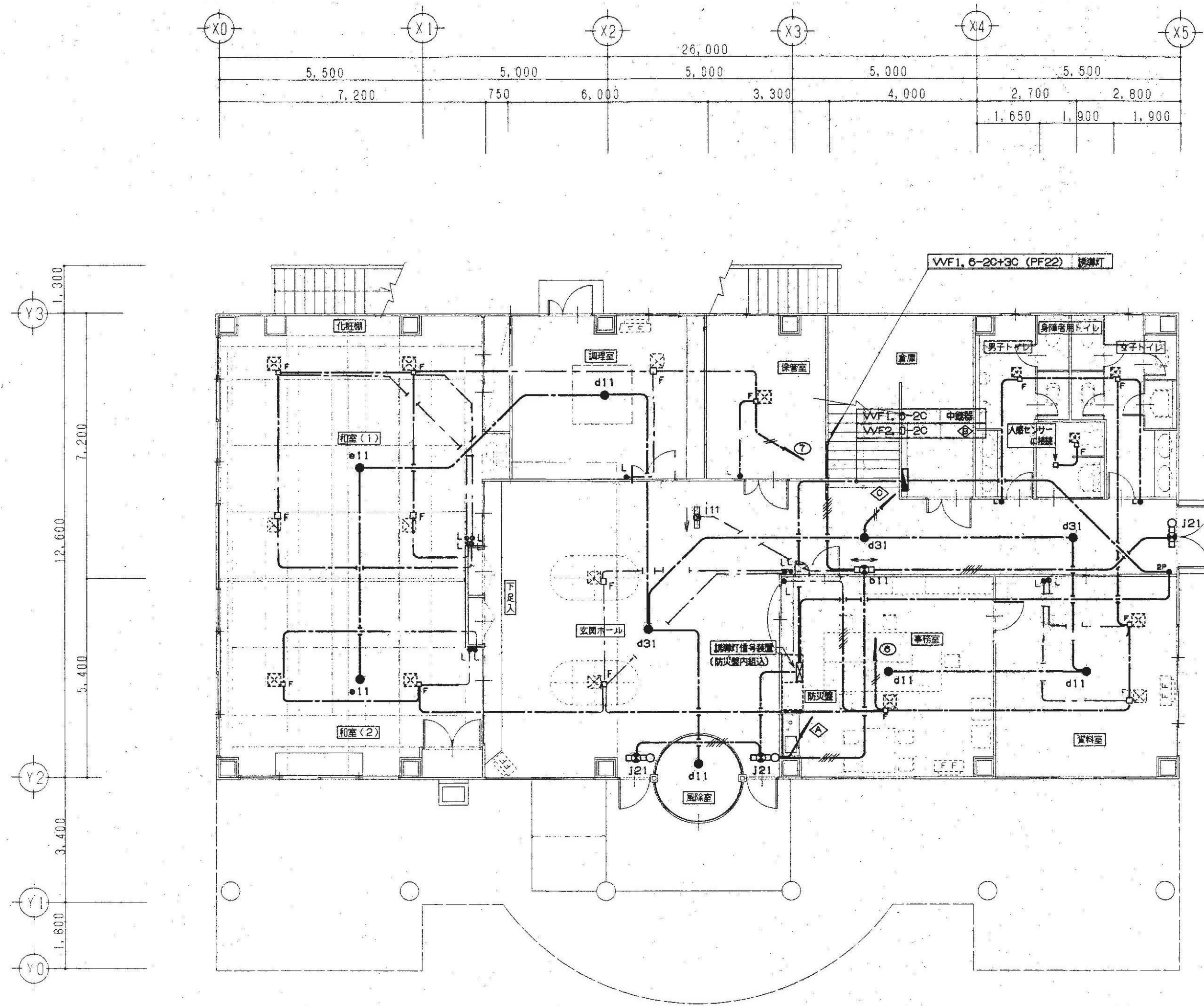
- 凡例
- (遺線) 改修
 - (薄線) 既存

※埋込照明器具の更新は改修前に器具開口を再確認すること。

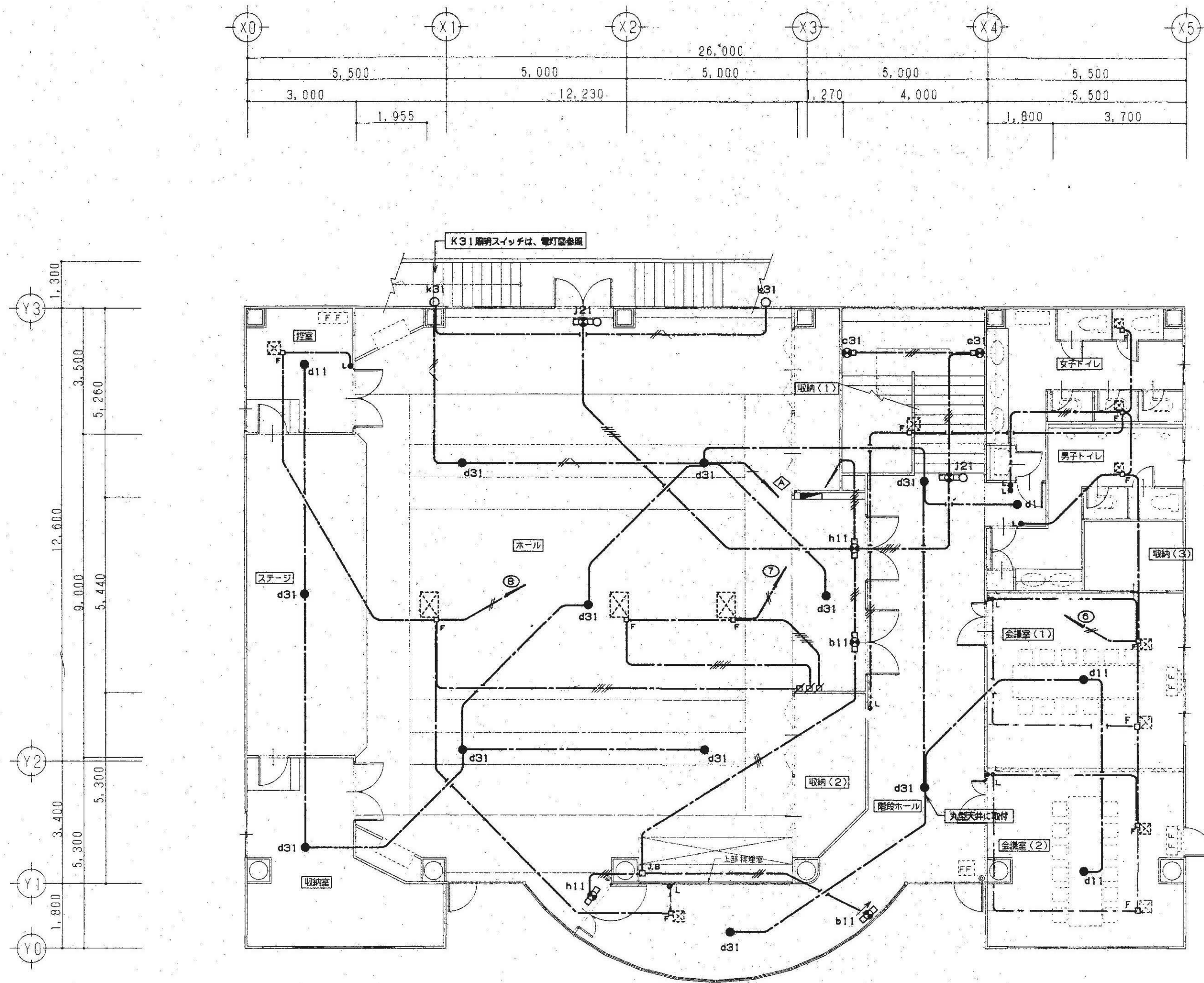
照明器具姿図（１）											
A		ＬＥＤ埋込下面開放		B		ＬＥＤ埋込下面開放（グレア抑制）		C		ＬＥＤシーリング	
A32	LED32W (4950lm)		LRS20-4-48		B32	LED32W (4200lm)		LRS20G1A-4-41		C19	LED19W (3200lm)
A43	LED43W (6500lm)		LRS20-4-65		B43	LED43W (5500lm)		LEER43002-LS9+LEEM40693N-DG相当品		C24	LED24W (4000lm)
開口300×1257				開口300×1257				W230			
D		ＬＥＤシーリング		E		ＬＥＤ埋込		F		ＬＥＤダウンライト	
D19	LED19 (3200lm)		LSS1-4-30		E52	LED52W (6200lm)		LEKR760901XM相当品		F7	LED7W (1080lm)
										F17	LED17W (2650lm)
				開口600×600				φ150			
H		ＬＥＤスポットライト		I		ＬＥＤ片反射笠付き		J		ＬＥＤ埋込下面開放（リニューアル）	
H7	LED7W (810lm)		LED88900 (W) 相当品		I16	LED16W (2290lm)		LEET-40704WSM+HR4185WS相当品		J17	LED17W (2350lm)
								長円形器具用リニューアル レット共			
				防湿形高温用							
								開口190×1257			
L				M		ＬＥＤブラケット		N			
					M9WP	LED8W (820lm)		LEDB87903N相当品			
O		ＬＥＤ建築化照明		P		ＬＥＤ軒下ダウンライト		Q			
O25	LED25W (3100lm)		LEDL15401N相当品		P7WP	LED7W (1030lm)		LRS1RP-08			
								角型リニューアル レット共			
				防雨防湿形 開口160×450							
V		ＬＥＤ軒下ダウンライト		W		ＬＥＤスポットライト		X			
V7WP	LED7W (1030lm)		LRS1RP-08		W32	LED32W (2970lm)		LEDS30113WW-LS1相当品			
								Y7			
								LED7W (970lm)			
								LEK01033425N相当品			
								Z4			
								LED4W (540lm)			
								LEDB85005相当品			
防雨防湿形 φ150								φ150			

[illegible][illegible]





1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100

凡	例
記号	名称・仕様
□○	誘導灯照明器具 (参考図参照)
□○	〃 (キセノンランプ付) (〃)
●	非常照明器具 (〃)
□○	誘導灯信号装置 (〃)
●	大型角型埋込スイッチ AC100V15A (面切)
●	〃 (LED内蔵) 10~400W用 (片切)
○	換気扇 (別途工事) (壁付け)
○	〃 (〃) (天井付け)
○	同上用スイッチ (〃) (位置ボックス本工事)
□	ジャンクションボックス カバープレート付
〃	立上げ、引下げ、兼通し

特記事項
1. 特記なき配管、配線は下記参照のこと。 ケーブル配線工事については、立上げ、下げ、室内及び貫通部分は 電線管にて保護する事。
WVF 1.6-20
WVF 1.6-30
WVF 1.6-20 x2
WVF 1.6-20 x30
WVF 2.0-20
WVF 2.0-30 (1志楼地)
WVF 1.6-30 (〃)
IV 1.6 x3 (PE16)

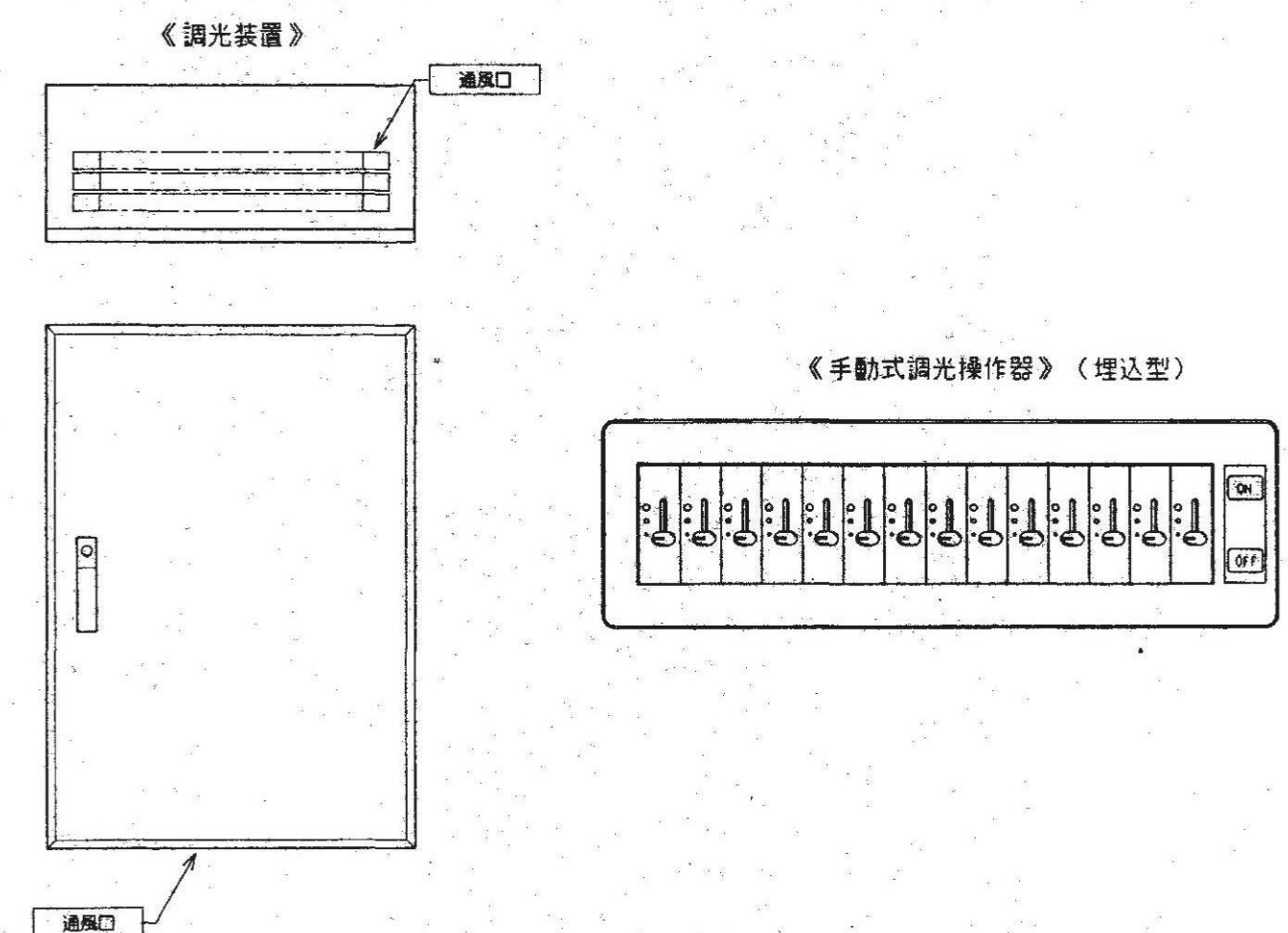
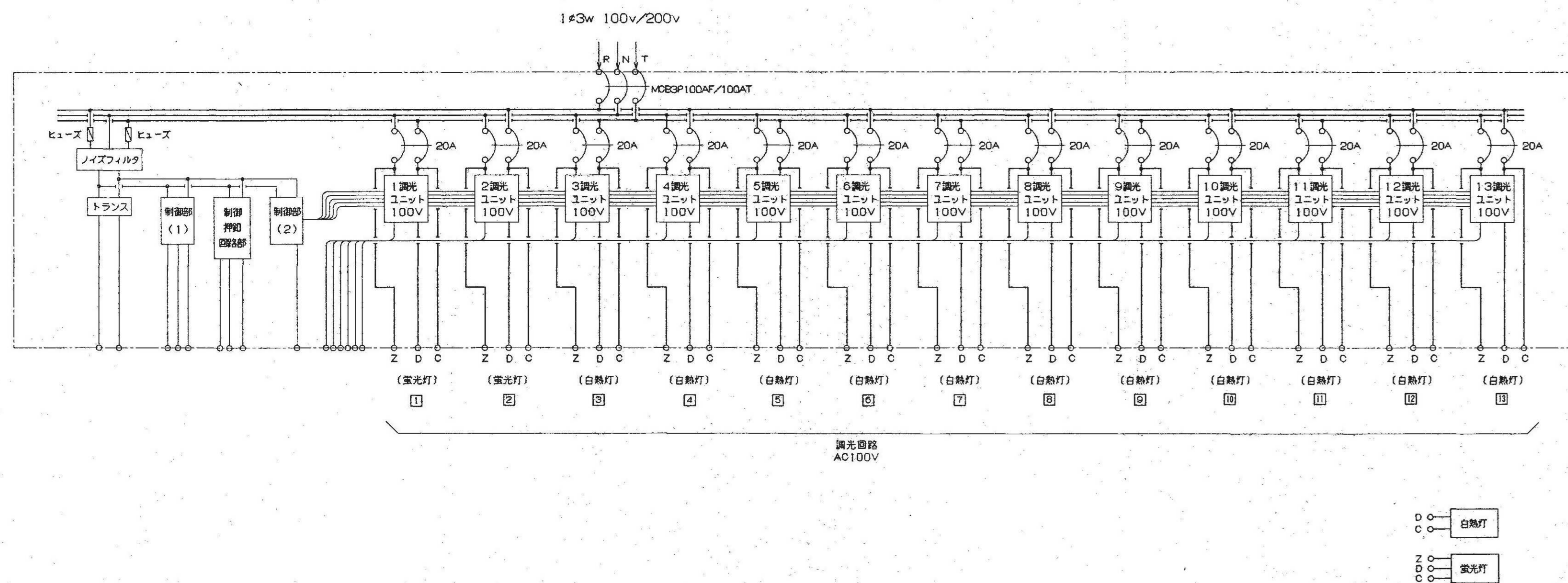
照 明 器 具 参 考 姿							
A	蛍 光 灯	B	蛍 光 灯	C	蛍 光 灯	D	蛍 光 灯
A 322	FHF32W-2 (Hfインバーター)	B 322	FHF32W-2 (Hfインバーター)	C 321	FHF32W-1 (Hfインバーター)	D 321	FHF32W-1 (Hfインバーター)
A 42	FLR40W-2 (調光型 3線式)	B		C 322	FHF32W-2 ()	D 321S	FHF32W-1 (Hfインバーター) (SUS)
A		B		C		E	
A		B		C		E	
	(調光型、ステップ、控電)	(半導体) (2F全周照)	(実物型、電球型) (階段下全周)	(トイレ、階段)	(和風)	(無防風、玄関ホール) (廊下、事務所)	(玄関ホール)
H	白 熱 灯	I	蛍 光 灯	J	蛍 光 灯	K	蛍 光 灯
H 61	IL100W	I 41	FLR40W-1 (SUS、WP)	J 42	FLR40W-2 (インバーター)	K 321	FHF32W-1 (Hfインバーター) (SUS)
H		I	※ 高温用安定器使用	J		K	
H		I		J		K	
H		I		J		K	
	(ホール)	(調光型)	(玄関ホール)	(壁面)	(和風)	(壁外)	(資料室)
O	蛍 光 灯	P	蛍 光 灯	Q	蛍 光 灯	R	蛍 光 灯
O 321	FHF32W-1 (Hfインバーター) (壁付型)	P 36	FPL36W-1 ()	Q 364	FPL36W-4	R 41	FL40W-1
O	※ 照射方向上向きとする。	P		Q		R	※ 照度制限用
O		P		Q		R	
O		P		Q		R	※ 調光型 (0~100%) 3線式
	(断面図) (階段ホール)			(2層全周照)	(ホール)	(レイアウト図) (ホール)	(ホール)
V	軒下ダウンライト	W	スポットライト	X	ピンスポットライト	Y	ダウンライト
V 271	FDL27W-1 (防雨型)	W 301	JD300W-1	X 651	JD650W-1 (2台納入)	Y 71	IL70W-1
V		W	※ コンセント用プラグ付 (引掛型)	X		Y	※ 壁面射用
V		W		X		Y	
V		W		X		Y	
	(外部軒下)	(ホール)	(ホール)	(和風)	(2Fホール)		

既存照明器具を撤去しLEDの相当器具に更新する。

※既存誘導灯の更新は改修前に所轄消防署と調整すること。

a誘導灯 (電池内蔵型)		b誘導灯 (電池内蔵型)		c誘導灯 (電池内蔵型)		d非常照明器具 (電池内蔵型)		e非常照明器具 (電池内蔵型)		誘導灯信号装置 (防災盤組込)	
a a a a	FL10W-1 (小型 片面) FL20W-1 (中型 片面)	b b b b	FL10W-1 (中型 両面)	c c c c	FCL30W-1 (階段通路用) (非常照明器具用)	d d d d	JD13W-1 JD30W-1	e e e e	JD13W-1		(誘灯点滅式)

調光盤參考姿図・結線図



※調光装置を休止スイッチによるON/OFFに改修。
メタルモール5個用スイッチボックスに1P15A×13取付。